

老若男女多くの人でにぎわう ママさん主催のイベント「NEW WORLD 匠瑛」



▲大勢の来場者で埋め尽くされた会場



▶大型のすべり台を楽しむ子どもたち

そうさ記念公園で10月12日、「NEW WORLD 匠瑛～みんなであつなぐ笑顔のピース～」が開催されました。このイベントは、市内在住のママさんたちが匠瑛市に活気と笑顔があふれるようにと企画したものです。八日市場第二中学校吹奏楽部の演奏を皮切りに、エンターテイナーグループ「リアルピース」やキッズダンサーたちによるステージショーなどが行われました。

会場内にはキッチンカーやハンドメイドショップ、空気式の大型のすべり台なども立ち並び、子どもから高齢者まで多くの人でにぎわいました。

飯高寺境内に響く音色と歌声 第29回飯高檀林コンサート

飯高寺講堂を舞台に10月13日、飯高檀林コンサートが開催されました。29回目を迎えた今回は、本市シティ・アンバサダーの和楽器ユニット「打花打火-DAKADAKA-」（山田路子さん、月村路子さん）と鍵盤奏者の本間樺代子さん、歌手の横洲かおるさんが共演。太鼓と笛、エレクトーンの和洋の楽器と歌声が織り成すハーモニーが集まった観客に届けられました。

また、ふれあいパーク八日市場主催の「秋の里山ハイキング」が同日開催され、約30人の参加者が同コンサートの鑑賞と会場までの里山の散策を楽しみました。



▲観客の耳を楽しませた演奏と歌声

▶コンサート会場を目指す里山ハイキングの参加者



秋の匠瑛を振り返る

市内各地で開催された伝統行事やイベントを紹介します。



1 野栄福祉会秋まつり（10月13日）。キッチンカーや出店が並び会場で、キッズダンスやのさか太鼓の演奏が行われた **2** 十二所神社御神幸祭（10月13日）。五穀豊穡や豊漁などを祈願し、神社の敷地内で神輿の渡御が行われた **3** **4** 水神社秋の祭礼（10月12日・13日）。13日は椿海小学校の校庭で、巫女舞の披露と神輿の渡御が行われた **5** 松山神社秋の大祭（10月13日）。神輿に頭上を通ってもらうと御利益があるとされ、参道の鳥居前に、しゃがんだ姿勢で神輿を待つ人の行列ができた





マスコット
キャラクター
「そうりっぷ」

市内小・中学生などを対象に「少しの勇氣」をテーマにした作文部門と、そうりっぷ

**市内学生から募集した
作品などの展示**

内容：ボランティア活動発表、表彰状および感謝状の贈呈式

日時：11月23日(土・祝) 13時30分～16時15分

場所：八日市場公民館

**11月23日に
集中イベントを開催**

キャンペーンに合わせ、ボランティアに関する活動発表などを行う集中イベントを開催します。参加は無料です。

市、市社会福祉協議会および市ボランティア連絡協議会で、「若く新しい力」をテーマに開催
ボランティアアキヤンペーン 匝瑳2024
は、「若く新しい力」で開く、優しさあふれるまちづくり」をテーマに、11月23日(土・祝)～12月8日(日)に「ボランティアアキヤンペーン 匝瑳2024」を開催します。

**「若く新しい力」をテーマに開催
ボランティアアキヤンペーン 匝瑳2024**

まんが部門の作品を募集しました。ボランティアアキヤンペーン実行委員会による選考を行い、最優秀賞受賞者が選ばれました。

▽**作文部門最優秀賞受賞者**

吉田小学校6年

秋葉美玖さん

▽**そうりっぷまんが部門最優秀賞受賞者**

八日市場第二中学校2年

秋山桜典さん

◆受賞作品の展示

最優秀賞や優秀賞を受賞した作品などを展示します。

期間：11月23日(土・祝)～12月8日(日)

場所：市役所ロビーおよび八日市場公民館

◆ボランティアアグループの紹介や活動体験、パネル展示

期間：11月26日(火)～30日(土)

場所：八日市場公民館

場所：八日市場公民館

情報提供のお願い

**管理されていない
空き家はありませんか**



市内に管理されていない空き家があり、周辺に悪影響を及ぼしている場合は、下記まで情報提供をお願いします。市で現地調査・所有者調査を実施し、所有者に対して、助言や情報提供を行います。

☎**閩都市整備課管理班** ☎73-0091

☎**閩環境生活課市民協働班**
☎73-0088

▼市ホームページはこちらから



ボランティア認定制度を実施
市では、若い世代におけるボランティア意識の向上のため、一定要件以上のボランティア活動をを行った学生に対し、認定書を交付する「匝瑳市ボランティア活動貢献学生認定制度」を制定しています。※詳細は、市ホームページをご覧ください。

脱炭素のすすめ

Vol.07

「蓄エネについて」

みなさんは蓄エネをしていますか？蓄エネとは、私たちの生活に必要なエネルギーを蓄えることです。蓄エネを多方面で進めることにはさまざまなメリットがあります。

◆身の周りにある蓄エネ

最も普及している蓄エネは、電気をバッテリー（蓄電池）に蓄えるものです。充電式の乾電池やポータブルバッテリーなども普及してきています。また、太陽光発電と組み合わせると、昼間の余った電気を蓄電池や電気自動車のバッテリーに蓄えることができます。電気に限らず、熱エネルギーを風呂などに使うお湯として蓄えることもできます。さらに将来は余った電気で水素をつくり、

市では、昨年11月に環境省の脱炭素先行地域に選定されたことを受け、今年度から新たに「ゼロカーボン推進課」を設置しました。このコーナーでは脱炭素社会の実現に向け、さまざまな情報を発信していきます。

☎**閩ゼロカーボン推進課** ☎73-0019

燃料として蓄えることも研究されています。

◆蓄エネのメリット

蓄エネをするメリットは、電気や熱を無駄なく必要な時に使えることです。本紙10月号でお勧めした太陽光発電と組み合わせると、昼間の余った電気を蓄えて夜間など太陽光で発電できない時や停電などの災害時にも使用できます。

◆市内でも取り組みが進められています

私たちが、これから脱炭素を進める中で、蓄エネはとても大切です。市内でも蓄電池などを住宅やさまざまな施設に導入し、太陽光発電で作られた電気をより有効に活用する取り組みが進められています。